



メモリ コンポーネントの交換

この付録では、Cisco AS5400XM ユニバーサル ゲートウェイのメモリ チップを交換する手順について説明します。内容は、次のとおりです。

- シャーシカバーの取り外し (p.A-2)
- コンパクトフラッシュの交換 (p.A-6)
- DIMM の交換 (p.A-9)
- シャーシカバーの取り付け (p.A-12)

シャーシ カバーの取り外し

ここでは、シャーシ カバーを取り外してシャーシを開ける手順について説明します。

必要な工具

必要な工具は、次のとおりです。

- 中型のプラス ドライバ
- 小型または中型のマイナス ドライバ

安全に関する推奨事項

作業を安全に行うため、次の点に注意してください。



警告

電話網の電圧に接触しないように、シャーシを開く前に電話線を取り外してください。ステートメント 1041



警告

雷が発生しているときには、システムに手を加えたり、ケーブルの接続や取り外しを行わないでください。ステートメント 1001



警告

シャーシを取り扱うとき、または電源装置の近くで作業をするときは、AC 装置の場合は電源コードを外し、DC 装置の場合は回路ブレーカーで電源を切断してから、作業を開始してください。ステートメント 12

ユニバーサル ゲートウェイの NVRAM は、データを保持するための内部リチウム バッテリーを使用しています。この部品はユーザ側で交換したり修理したりすることはできませんが、安全のため次の警告に従ってください。



警告

バッテリーが適正に交換されなかった場合、爆発の危険があります。製造元が推奨するものと同じまたは同等のバッテリーだけを使用してください。使用済みのバッテリーは、製造元の指示に従って廃棄してください。ステートメント 1015



警告

電源に接続されている装置を扱う場合は、事前に指輪、ネックレス、腕時計などの装身具を外しておいてください。これらの金属が電源やアースに接触すると、金属が過熱して重度のやけどを負ったり、金属類が端子に焼き付くことがあります。ステートメント 43

シャーシカバーの取り外し手順

ブート ROM および SDRAM DIMM など、アクセス サーバの内部コンポーネントを取り扱うには、シャーシを開ける必要があります。また、コンパクトフラッシュを交換するときは、シャーシ内のフィーチャカードをすべて取り外す必要があります。

シャーシカバーを取り外す手順は、次のとおりです。

ステップ 1 電源スイッチをオフにし、設置場所の電源を切断します（電源スイッチは電源装置の一部となっています）。

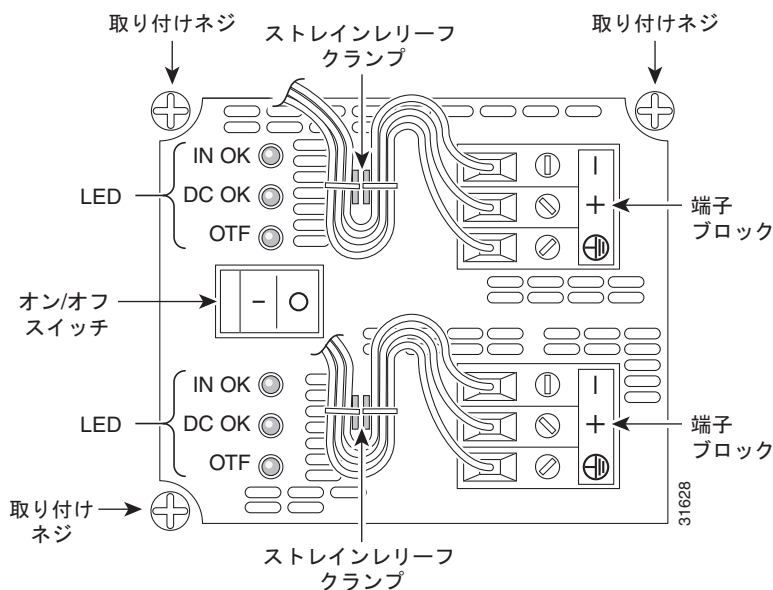
ステップ 2 DC 電源装置を使用している場合は、[図 A-1](#) を参照し、ステップ a ~ ステップ d 行ってください。



警告

アースまたは電源ワイヤのシャーシへの取り付けや取り外しを行う前に、DC 回路に電気が流れていないことを確認します。すべての電源を確実に切断するには、配電盤上で DC 回路に対応している回路ブレーカーを OFF の位置に切り替え、回路ブレーカーのスイッチ ハンドルを OFF の位置のままテープで固定します。ステートメント 140

図 A-1 DC 電源装置の接続



- DC 電源装置の端子ブロックにあるマイナス線、戻り線、およびアース線の計 6 つの固定ネジを緩めます。
- 端子ブロックのマイナス コネクタ (-) から、-48 VDC 線を取り外します。
- 端子ブロックのプラス コネクタ (+) から、48 VDC 線を取り外します。
- 端子ブロックのアース コネクタから、保護アース線（グリーン）を取り外します。

ステップ 3 シャーシの背面パネルから、インターフェイス ケーブルをすべて取り外します。

ステップ 4 前面パネルが手前になるようにシャーシを置きます。

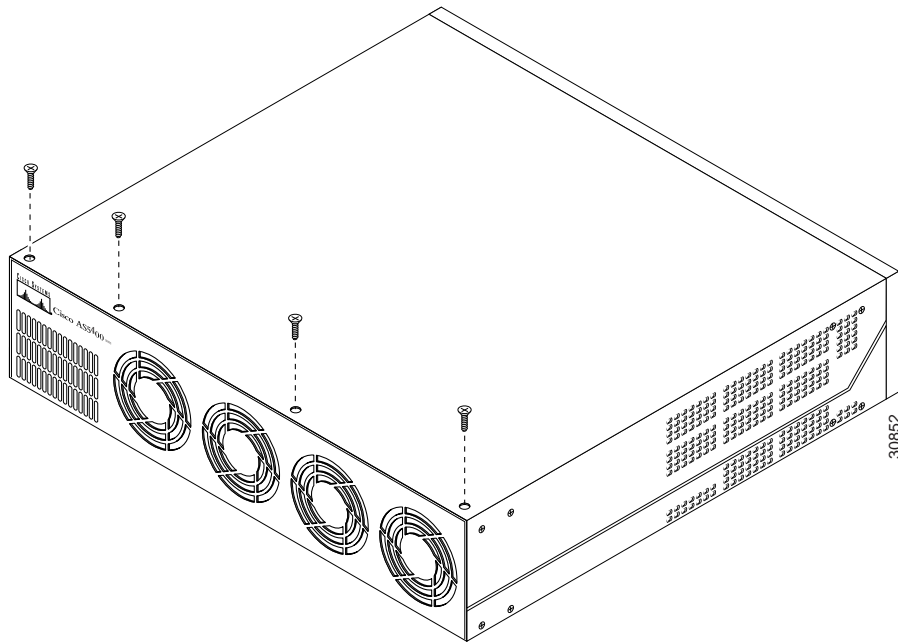
■ シャーシカバーの取り外し

ステップ 5 シャーシカバーの4つのネジを取り外します (図 A-2 を参照)。

**注意**

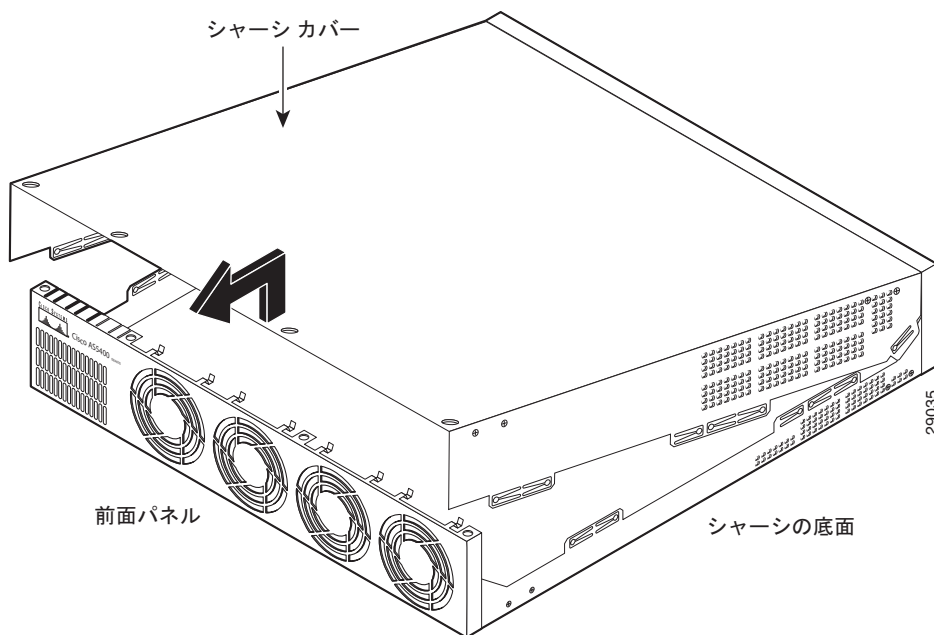
シャーシに 48 VDC 線を接続しないでください。配電ラックの 1 箇所であースすることを推奨します。

図 A-2 シャーシカバーのネジの取り外し



ステップ 6 マイナス ドライバを使用して、ゆっくりとカバーを開けます。シャーシカバーを持ち上げ、シャーシ背面のタブから引き出します (図 A-3 を参照)。

図 A-3 シャーシカバーの取り外し



コンパクト フラッシュの交換

コンパクト フラッシュを交換する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 電源スイッチをオフにし、設置場所の電源を切断します

DC 電源装置を使用している場合は、次の警告に従ってください。



以下の作業を行う前に、DC 回路に電気が流れていないことを確認します。ステートメント 1003



アースまたは電源ワイヤのシャーシへの取り付けや取り外しを行う前に、DC 回路に電気が流れていないことを確認します。すべての電源を確実に切断するには、配電盤上で DC 回路に対応している回路ブレーカーを OFF の位置に切り替え、回路ブレーカーのスイッチ ハンドルを OFF の位置のままテープで固定します。ステートメント 140



電話網の電圧に接触しないように、シャーシを開く前に電話線を取り外してください。ステートメント 1041

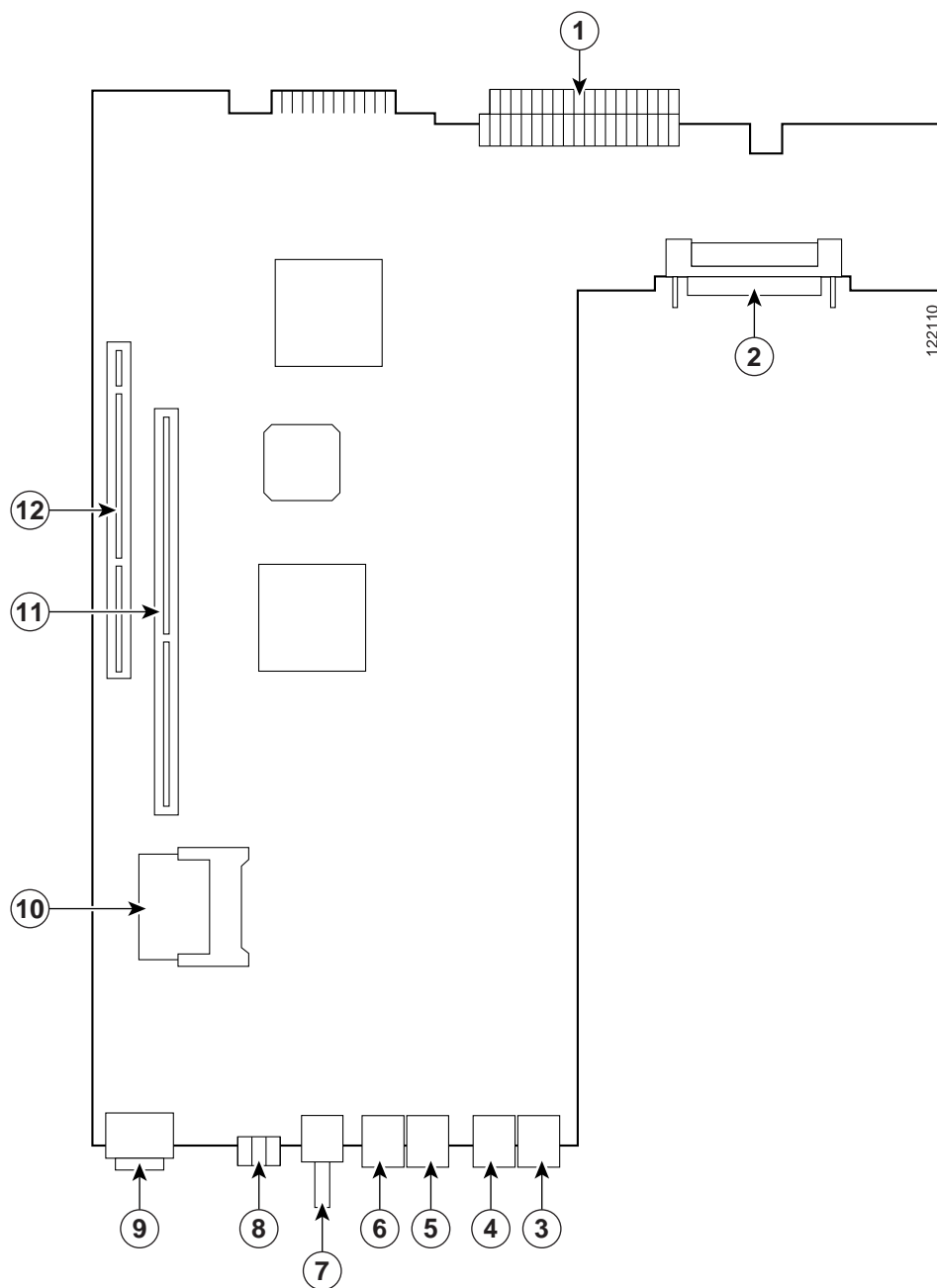
ステップ 2 DFC からインターフェイス ケーブルをすべて取り外します。

ステップ 3 静電気防止用リストストラップを着用します。

ステップ 4 シャーシカバーを取り外します（「シャーシカバーの取り外し」 [p.A-2] の手順を参照）。

ステップ 5 システム ボード上のコンパクト フラッシュの位置を確認します（図 A-4 を参照）。

図 A-4 メモリの位置



1	バックプレーン コネクタ	2	システム ボード DFC コネクタ
3	AUX	4	CON
5	GE1	6	GE0
7	BITS ポート	8	アラーム ポート
9	2T シリアル インターフェイス	10	コンパクトフラッシュ
11	DIMM スロット	12	32 ビット PCI インターフェイス

■ コンパクト フラッシュの交換

- ステップ 6** 古いコンパクトフラッシュを指でゆっくり引き出し、非導電性のシートの上に置きます。ソケットの損傷を防ぐため、無理な力を加えないように注意してください。
- ステップ 7** ソケットに新しいコンパクトフラッシュを差し込みます。下部のピンを曲げたり壊したりしないように注意してください。必要に応じて、ラジオペンチを使用して曲がったピンをまっすぐにします。
- ステップ 8** シャーシカバーを取り付けます（「シャーシカバーの取り付け」[p.A-12]の手順を参照）。
- ステップ 9** ユニバーサル ゲートウェイの電源をオンにします。メモリ関連のエラーメッセージが表示された場合は、新しいコンパクトフラッシュをいったん取り外し、ソケットにしっかり差し込むように注意しながら、再度取り付けます。
-

DIMM の交換

ここでは、Cisco AS5400XM ユニバーサル ゲートウェイの DIMM を交換する方法について説明します。ユニバーサル ゲートウェイには DIMM が 1 つ付いています (図 A-4 を参照)。工場出荷時のデフォルト設定は 512 MB Double Data Rate (DDR1) SDRAM DIMM です。

次のような場合に、DIMM をアップグレードする必要があります。

- より多くのメモリを必要とする新しい Cisco IOS フィーチャ セットまたはリリースにアップグレードした場合。
- 非常に大きいルーティング テーブル、または多数のプロトコルを使用している場合 (ユニバーサル ゲートウェイが、大規模な外部ネットワークと内部ネットワーク間の接続装置として設定されている場合など)。

必要な工具および機器

必要な工具および機器は、次のとおりです。

- 静電気防止用リストストラップ
- 適切な DIMM

DIMM の交換手順

DIMM は、次の手順で交換します。

ステップ 1 ユニバーサル ゲートウェイの電源をオフにし、設置場所の電源を切断します。

DC 電源装置を使用している場合は、次の警告に従ってください。



警告

以下の作業を行う前に、DC 回路に電気が流れていないことを確認します。ステートメント 1003



警告

アースまたは電源ワイヤのシャーシへの取り付けや取り外しを行う前に、DC 回路に電気が流れていないことを確認します。すべての電源を確実に切断するには、配電盤上で DC 回路に対応している回路ブレーカーを OFF の位置に切り替え、回路ブレーカーのスイッチ ハンドルを OFF の位置のままテープで固定します。ステートメント 140



警告

電話網の電圧に接触しないように、シャーシを開く前に電話線を取り外してください。ステートメント 1041

ステップ 2 DFC カードからインターフェイス ケーブルをすべて取り外します。

ステップ 3 静電気防止用リストストラップを着用します。

ステップ 4 シャーシカバーを取り外します (「シャーシカバーの取り外し」 [p.A-2] の手順を参照)。

ステップ 5 図 A-4 を参照し、交換する DIMM の位置を確認します。

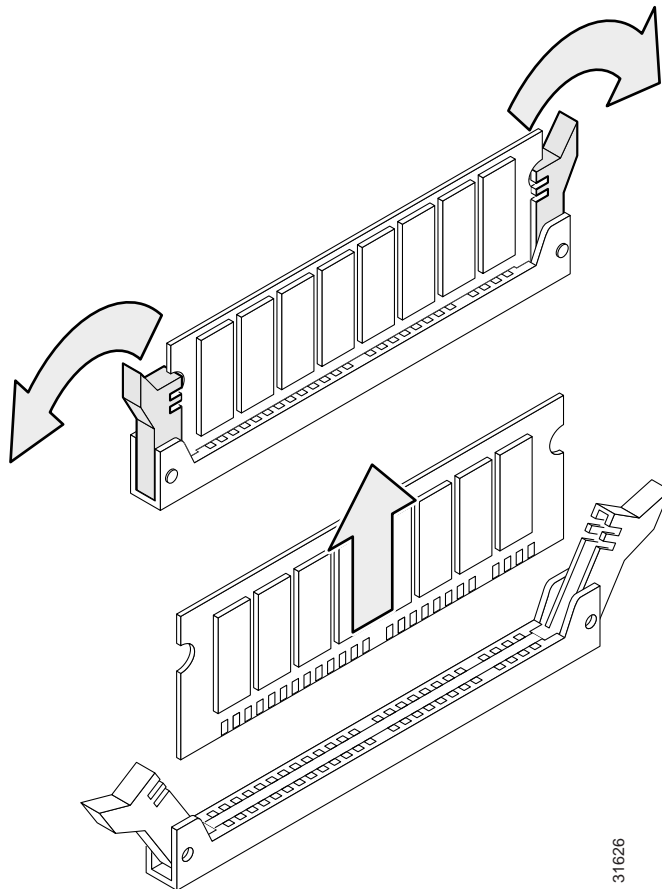
ステップ 6 ソケットのラッチを引いて DIMM から外し、ソケットから DIMM を引き出します (図 A-5 を参照)。ラッチは DIMM としっかりとかみ合っているため、ソケットを損傷しないように注意してください。



注意

DIMM の損傷を防ぐため、DIMM の中央を押さないようにしてください。DIMM は慎重に取り扱ってください。

図 A-5 DIMM の取り外し

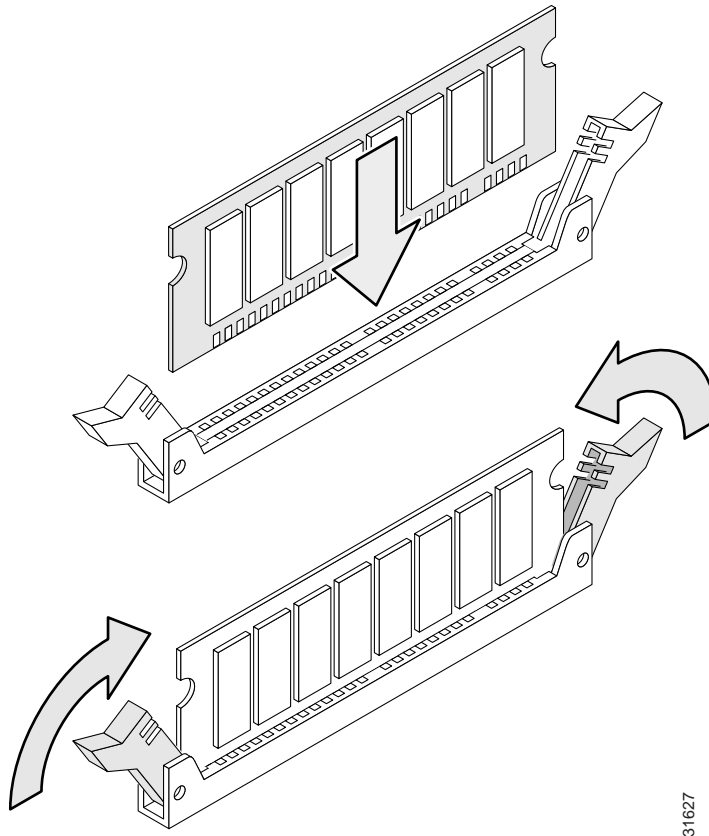


31626

ステップ 7 新しい DIMM の極性ノッチが DIMM ソケットの右端になるように位置を合わせます。

ステップ 8 新しい DIMM の金属製フィンガが並んだ端をスライドさせながら、DIMM ソケットに差し込みます (図 A-6 を参照)。

図 A-6 ソケットへの新しい DIMM の挿入



31627

- ステップ 9** 両端のラッチがかかったことを確認します。ソケットの損傷を防ぐため、無理な力を加えないように注意してください。
- ステップ 10** シャーシカバーを取り付けます（「[シャーシカバーの取り付け](#)」 [p.A-12] を参照）。
- ステップ 11** ユニバーサル ゲートウェイの電源をオンにします。メモリ関連のエラーメッセージが表示された場合は、DIMM をいったん取り外し、ソケットにしっかり差し込むように注意しながら、再度取り付けます。

シャーシ カバーの取り付け

ここでは、シャーシ カバーの取り付け手順について説明します。

必要な工具および機器

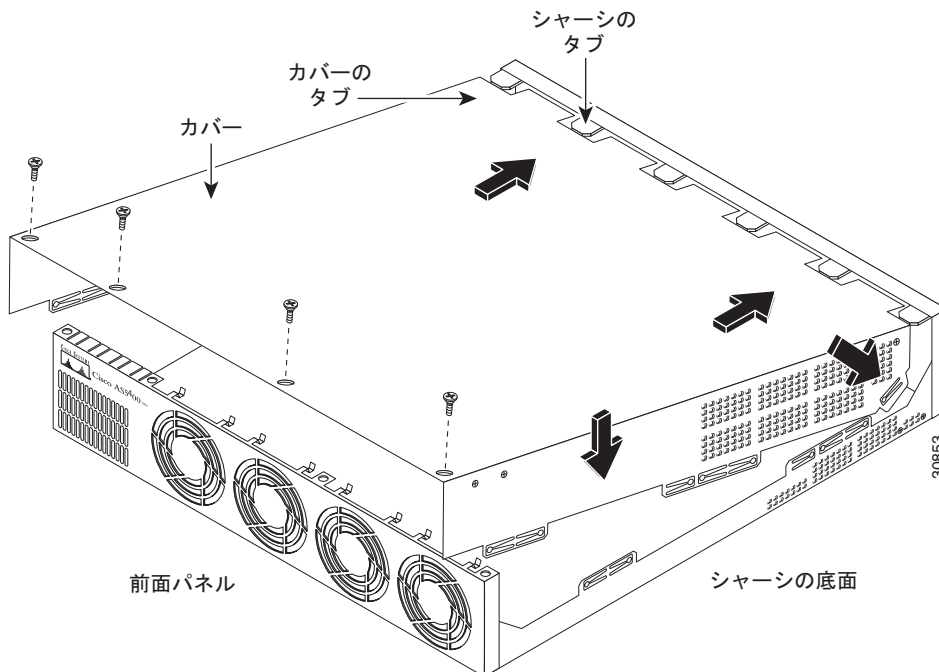
- 中型のプラス ドライバ
- ネジ×4
- ケーブル タイ

シャーシ カバーの取り付け手順

シャーシ カバーを取り付ける手順は、次のとおりです。

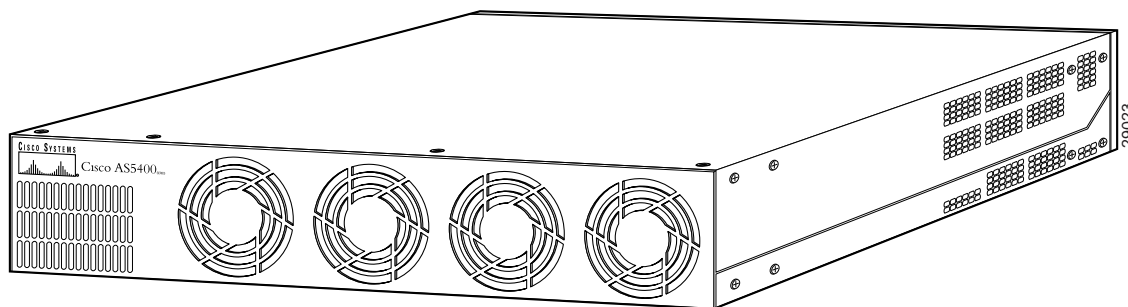
-
- ステップ 1** 前面パネルが手前になるようにシャーシ底面を置きます。
- ステップ 2** シャーシ カバーをシャーシの上にかぶせ、シャーシ背面パネルの上部にあるシャーシ タブに、カバーの各タブを合わせます (図 A-7 を参照)。

図 A-7 シャーシ カバーの取り付け



- ステップ 3** 次の点に注意しながら、カバーの前方を下げてシャーシを閉じます。
- シャーシ カバーのタブがシャーシ背面パネルの縁の下に入り、はみ出さないようにします。
 - シャーシ タブがシャーシ カバーの下に入り、はみ出さないようにします。(図 A-8 を参照)。

図 A-8 Cisco AS5400XM シャーシ

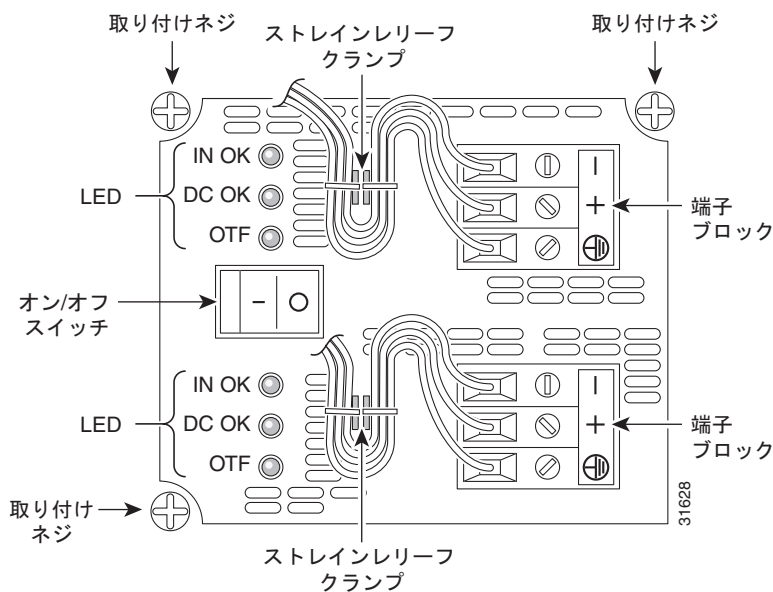


- ステップ 4** シャーシカバーを4つのネジで固定します
- ステップ 5** シャーシをラック、デスクトップ、またはテーブルに元どおりに設置します。
- ステップ 6** インターフェイス ケーブルを元どおりに取り付けます。
- ステップ 7** 電源装置に2本の AC 電源コードを元どおりに取り付けます。DC 電源装置を使用している場合は、[図 A-9](#)を参照し、ステップ a～ステップ dを行ってください。

**警告**

次の図に、DC 電源装置の端子ブロックを示します。この図に示すように、ワイヤの端に適切な端子を取り付けて、または端子を取り付けずに、DC 電源装置の配線を行います。配線は、アースとアース、プラスとプラス、マイナスとマイナスの順に行います。アース線は、必ず最初に接続し、最後に外します。**ステートメント 197**

図 A-9 DC 電源装置の接続



**注意**

端子ブロックのネジは、固く締めすぎないように注意してください。推奨するトルクは、5.0 インチ ポンド (0.56 ニュートン メータ) です。

- a. 保護アース線 (グリーン) を端子ブロックのアース コネクタに差し込み、ネジを締めます。ワイヤのむき出し部分が露出していないことを確認します。
- b. 48 VDC 線を、端子ブロックのプラス コネクタ (+) に差し込み、ネジを締めます。ワイヤのむき出し部分が露出していないことを確認します。
- c. -48 VDC 線を、端子ブロックのマイナス コネクタ (-) に差し込み、ネジを締めます。ワイヤのむき出し部分が露出していないことを確認します。
- d. 電源コードが DC 電源装置上のストレイン レリーフ クランプにケーブル タイで固定されていることを確認します。

**警告**

DC 電源装置を接続したあとで、回路ブレーカーのスイッチ ハンドルに貼ったテープをはがし、回路ブレーカーのハンドルを ON の位置に切り替えて通電状態にします。ステートメント 8

ステップ 8 ユニバーサル ゲートウェイの電源をオンにします。

内部電源装置のファンが作動します。

**注意**

シャーシに 48 VDC 線を接続しないでください。1 箇所であースすることを推奨します。